

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、下記検査項目におきまして、検査の受託を開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

敬白

記

《検査項目》〔2195〕特異的IgG 鳥

《受託開始日》2021年12月1日（水）受付分より

《検査要項》

| 項目コード | 項目名 | 検体量 mL | 保存 条件 | 採取 容器 | 実施料 判断料 | 所要 日数 | 検査方法 | 基準値 |
|------------------------------------|---|-----------|----------|----------|------------|----------|-------|--|
| 2195 子:2196 子:2197 子:2198 | 特異的IgG 鳥 子:セキセイインコIgG 子:ハトIgG 子:判定 | 血清 0.5 | 冷蔵 | A | 873※ 免疫 | 3~4 | FEIA法 | セキセイインコIgG: 8.00 mgA/L 未満 ハトIgG: 24.00 mgA/L 未満 判定:(-) |

※ 診察又は画像診断等により鳥関連過敏性肺炎が強く疑われる患者を対象として測定した場合に算定する。
なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

○ 特異的IgG 鳥

本検査は、鳥関連過敏性肺炎の原因である鳥抗原に対する特異的IgG抗体価を測定する検査であり、鳥関連過敏性肺炎の診断補助を目的として、2021年6月1日より保険適用となりました。鳥関連過敏性肺炎は過敏性肺炎の1つで、鳥の飼育や住居環境（住まい近くに鳥が多い環境がある等）、羽毛ふとん、ダウンジャケット、剥製、鶏糞肥料などが原因抗原となって発症します。その過敏性肺炎は、環境中の特定の真菌、細菌、鳥由来のタンパク質、無機物などの抗原を繰り返し吸い込むことで発症するアレルギー性の間質性肺炎であるため、過敏性肺炎の診断後は原因となる抗原を回避することが重要となります。

本検査によって得られるセキセイインコ特異的IgG抗体価、ハト特異的IgG抗体価は、鳥関連過敏性肺炎の診断を補助し、過敏性肺炎の鑑別に有用と考えられます。